



赤十字ありがとう通信 NO.11

日本赤十字社 広島県支部
Japanese Red Cross Society

みなさまのおかげで、私たちの活動が成り立っています。
赤十字の様々な取組みを紹介します。

発行日／令和2年5月1日 発行／日本赤十字社 広島県支部 〒730-0052 広島県広島市中区千田町2丁目5-64

国際活動

International Activities

アジア・大洋州の国々への各種支援事業

日本赤十字社は、192の国や地域に広がる世界的ネットワークを生かし、人々の苦痛を軽減し、予防するためのさまざまな活動を行っています。

世界の自然災害の多くが集中するアジア・大洋州地域の国々では、医療従事者・医療資機材の不足やインフラの未整備など、保健衛生面において、多くの課題を抱えています。

令和元年度、当支部では救急法の普及支援や保健医療支援、災害時の給水・衛生支援のため、職員を東ティモール民主共和国をはじめとした国々に派遣しました。



東ティモール民主共和国
The Democratic Republic of Timor-Leste

救急法普及支援事業

東ティモール民主共和国は、交通網や救急医療システムが不十分のため、救急隊の到着までに3~4時間を見る場合もあり、市民が自らの手で命を守る救急法の普及が重要となっています。

令和元年10月、本社・当支部・京都府支部・岡山県支部から指導員を派遣し、現地の救急法指導員研修会において救急法の実践指導をしました。さらに、現地の指導員に、指導方法や普及方策などについて助言を行いました。



心肺蘇生法の指導



フィリピン共和国
Republic of the Philippines

保健医療支援事業



手洗いの指導をする職員

フィリピン共和国の地域によっては、医師・看護師不足による保健医療サービス低下などの問題を抱え、地域住民に対する健康教育が重要となっています。

令和元年11月、本社・当支部・茨城県支部から職員を派遣し、地域での健康教育の担い手である地域保健ボランティア(CHV)へのインタビューやトイレなどの保健衛生設備の整備状況などの視察を行い、CHVが活動を継続して行う方策について、協議・検討を行いました。



カンボジア王国
Kingdom of Cambodia

給水・衛生災害対応キット支援事業

災害多発国であるカンボジア王国は、災害時に安全な水を供給できる給水・衛生災害対応キットの配備と、それを活用した救援活動を行う現地スタッフやボランティアなどの育成が重要となっています。

令和元年12月、本社・当支部・愛知県支部から職員を派遣し、給水・衛生災害対応キットの使用状況の確認や現地ボランティアを対象とした研修の視察、現地住民に対する衛生に関するインタビューを行いました。



現地住民へのインタビュー

派遣した指導員のコメント

現地の指導員は、自分たちの普及活動や講習内容について積極的にディスカッションするなど学習意欲が高く、いのちを守る救急法でこの国を良くしようという熱い思いを持った方ばかりでした。この支援活動が、彼らの一助となり、多くのいのちが救われれば幸いです。

派遣した職員のコメント

この事業により、トイレを毎日清掃すると回答した世帯が1.7倍になったこと、また地元行政もCHVの活動が保健医療サービスの充実を図る上で重要だと捉えていることが分かり、CHVの地道な活動が地域に根付いていることを感じられました。

派遣した職員のコメント

この事業は、給水キットの整備により災害時に安全な水を供給するだけでなく、研修を受けたボランティアによる現地住民への講義が、清潔な水を使用する、石けんで手洗いをするなどの現地住民の衛生習慣の改善に寄与していることが確認できました。



災害対策本部の運営



傷病者の手当

日本赤十字社は赤十字の使命のもと、災害救助法等における災害救護団体として、平時より災害に備えて体制を整えておく必要があります。

特に大規模災害発生時には迅速かつ適切な救護活動を行うことができるよう、中国・四国地方の各県支部合同で救護訓練を実施しています。

令和元年度の合同救護訓練は、11月8日(金)～10日(日)の3日間、鳥取県で実施され、中国・四国地方9県の赤十字施設、鳥取県や消防・警察などの防災関係機関から、総勢200名が参加しました。当支部からは広島赤十字・原爆病院の医師・看護師等の7名からなる救護班と支部職員4名を派遣しました。

鳥取県東部を震源とする大規模な地震の発生を想定した、避難所のアセスメント活動、救護所運営、災害対策本部の運営・支援などの訓練を行いました。

今回の訓練を通して、災害対応能力の向上、防災関係機関及び中国・四国地方各県支部の更なる連携強化を図ることができました。

日本赤十字社は、平時から救護員を育成し、防災訓練への参加や研修を行い、直ちに適切な救護活動を行えるように備えています。

青少年赤十字

Junior Red Cross

日本・韓国青少年赤十字相互交流事業



平和記念公園での平和学習



青少年赤十字活動の意見交換

大韓民国赤十字社忠南支社と当支部は、国際理解の一環として、両国の青少年赤十字メンバーを対象に、相互交流事業を行っています。令和元年7月には、県内中・高校生のメンバー10名を韓国へ派遣し、韓国とのメンバーとの交流会やボランティア活動を行いました。

参加した韓国青少年赤十字メンバーの声

学校訪問では日本の生徒たちが盛りに歓迎してくれてとても嬉しかったです。生徒たちが準備してくれた日本の浴衣を着ることができてとても幸せでした。茶道の体験も面白く、良い経験ができました。日本の生徒たちが良くしてくれてありがとうございました。またこのようなプログラムがあれば、必ず参加したいと思います。

参加者: PARK(パク)さん

平和記念公園では、教科書のみで知っていた原子爆弾の危険性を実際に経験したように感じました。支部では、救援物資が不足しないよう準備していたのに驚きましたが、日本が経験した多くの災害を土台にできたかと思うと心苦しいです。このような機会を与えていただき有難く思います。

参加者: KIM(キム)さん



縮景園での文化体験(茶道)

年が明けて令和2年1月には、韓国のメンバー5名が県内を訪問しました。訪問中は、7月に韓国に派遣された生徒を中心に県内メンバーとの意見交換や学校訪問を行ったほか、平和学習や茶道などを通じて日本文化を体験し、国際理解を深める良い機会となりました。

お問い合わせ



日本赤十字社 広島県支部
Japanese Red Cross Society

〒730-0052 広島県広島市中区千田町2丁目5-64

TEL 082-545-5011 (担当課直通)
FAX 082-240-2741